

科目6

精神保健福祉の相談支援

講義7-3

当事者及び家族等との協働事例

【事例】 家族会を紹介したケース①

事例経過

- 母は50代、本人は20代男性で3年前に統合失調症の診断を受けた。
- 父も同居、3人暮らしたが、父は仕事が忙しく家を空けることが多い。
- 本人は2年前まで地元の企業で働いていたが、職場でのトラブルが原因で退職。以後、ほとんど自室に引きこもった生活をしていた。
- 半年ぐらい前から独り言を言いながら家の外を出歩くようになる。帰りが遅くなる日もあるので母が心配し、対応について保健所の相談員に相談をしていた。
- 1か月前に路上で本人が大きな声を出していると通行人が110番通報。警察に保護され保健所に23条通報された。措置診察の結果、措置不要と判断されたが、医療保護入院(同意者は母)となった。
- 本人は現在も入院中だが、母は今後のことが心配となり、保健所の相談員に電話で相談した。

【事例】 家族会を紹介したケース②

電話相談の内容

- 本人から母へ毎日のように電話がある。
- 週に3回は面会に行き、差し入れもしている。
- 母は覇気のない声で話す。時に涙声にもなる。



【母の語り】

- 入院しているのに日々、本人からの電話や面会で疲れてしまう。
- 今のような状況で本人と今後生活できるのか不安、一緒に暮らせないと
思う。
- 夫は「仕事が忙しい」という理由で何もしてくれないし、話もできない。
- 病院は、治療の内容は説明してくれているが、本当に本人がよくなっ
ているのか不安。
- 病院の相談員には「なぜもっと早く連れてこなかったのか」と叱責され
て、改めて相談する気持ちになれない。
- 保健所の相談員に相談した時に、対応してくれていれば入院しなくても
よかったのではないか。
- 誰も自分のことは分かってくれない、孤独である。

あなたならどうしますか？

現状を整理する(母を本人として考える)

事例性

生物心理社会モデル
「心理・社会」の視点

- 息子が統合失調症のため医療保護入院中
- 息子の支援者が少ない
- 本人(母)の相談者が限られている

即応性

基礎自治体に求められる
重症化・複雑化予防の視点

- 本人(母)は追い詰められた状態であり、速やかに対処法について情報提供が必要

疾病性

生物心理社会モデル
「生物」の視点

- 精神科受診歴なし

緊急性

生物心理社会モデル
「生物」の視点

- 疲弊感があり、孤立感も強い
- 息子との生活に限界を感じている

【事例】 家族会を紹介したケース③

家族会の紹介

- 保健所の相談員は母の語りを聴いたうえで、本人が利用できる可能性のある障害福祉サービス等を紹介。
- 相談員は母の住んでいる地域の家族会を紹介し、実際に参加する日を調整した。
- 後日、母は相談員と一緒に地域の家族会に参加
- 相談員は家族会終了後に、家族学習会に積極的に参加している家族を母に紹介し、家族学習会への参加を促した。
- 母は家族学習会に参加し、家族会の定例会にも継続参加するようになった。

家族会を紹介して3年後

- 本人は地域活動支援センターや訪問看護による支援を受け入れ、徐々に外出できるようになってきた。母は本人のことで不安になると、家族会で話したり、主治医や担当相談員に相談している。
また、自分の趣味を再開し、楽しみながら生活している。

事例のポイント

- 家族の当事者性を踏まえた相談支援ができているか
- 家族会を含めた自助グループの情報を把握しているか
- 家族会の育成・支援の視点で普段から関わる事が出来ているか
- 家族学習会などの企画に関与しているか
- 必要に応じて障害福祉サービスや相談の窓口について情報提供等ができているか

【事例】ピアサポーター養成講座を紹介したケース①

事例経過

- ・本人は50代女性。統合失調症。入院も経験している。
現在は一人暮らし。
- ・ヘルパーを利用しながら、障害年金と就労継続支援A型の給与で生計を立てている。
- ・障害福祉サービスの更新申請のために、市の保健福祉センターに来所し相談員が対応。
- ・保健福祉センターの相談員とは当事者会活動で知り合いになっていた。

【本人の語り】

- ・障害福祉サービスを今までどおり利用したら良いのだろうか？
A型の人はいいい人達だけど、このままでいいのか悩んでいる。
- ・昨年、一緒に暮らしていた母が亡くなったのもあり、自分の人生について考えてしまう。以前、通っていたデイケアの当事者会に参加するのは楽しいのだが、物足りない気持ちになっている。
- ・自分がもっと人の役に立てないのかと思う。



現状を整理する

事例性

生物心理社会モデル
「心理・社会」の視点

- 精神障害があり、母が死去し一人暮らしとなっている
- 現状の生活に物足りなさを感じている
- 障害福祉サービスの更新について悩んでいる

即応性

基礎自治体に求められる
重症化・複雑化予防の視点

- 本人が来所して相談している
- これからの生活のあり方について悩んでいる
- 障害福祉サービスの更新時期が迫っている

疾病性

生物心理社会モデル
「生物」の視点

- 精神科に定期受診している
- 統合失調症と診断されている

緊急性

生物心理社会モデル
「生物」の視点

- なし

【事例】 ピアサポーター養成講座を紹介したケース②

ピアサポートの紹介

- 相談員は、ピアサポーターの存在について説明。また、保健所が主催するピアサポーター養成講座があることも情報提供する。
- 本人が、興味があると言うので、市がピアサポーター派遣事業を委託している社会福祉法人を本人に紹介し、担当者に電話連絡をした。
- 本人は一旦、ヘルパーと就労継続支援の更新手続きをした。また、同時に社会福祉法人の担当者と話をして、ピアサポートグループの見学に行くことにした。
- 見学後本人は、養成講座の受講申込みを行い、無事に講座を修了した。

【事例】 ピアサポーター養成講座を紹介したケース③

養成講座を受講して3年後

- 本人は就労継続支援事業所を辞め、ピアサポートグループに所属しており、電話によるピアカウンセリングや、保健所が実施している病院との交流会等で活躍している。
- 本人は市の自立支援協議会の委員となり、ピアサポートやリカバリーの概念の重要性について発言した。
- 本人は、以前利用していた就労継続支援事業所から「ピアサポート専門員として働かないか」と声をかけられているが、引き受けるべきかどうか悩んでいる。

事例のポイント

- 精神障害当事者のリカバリーを意識した相談支援ができているか
- 日頃から当事者団体等の参加者と繋がりが持てているか
- 既存の団体を含め、例会への参加、新たな参加者をつなぐことができているか
- ピアサポートグループを把握しているか
- ピアサポーター養成講座について把握をしているか
- 養成後の活動の場を想定し、働きかけが出来ているか
- ピアサポーターがどのような活躍をしたいのかを確認した上で協働が出来ているか

講義7-3 まとめ

- 当事者、家族は現在も精神障害に対する偏見・差別の影響を受けることがある。
- 相談員は、そのことを理解した上で本人・家族の意思を尊重し相談支援を行う。
- 必要に応じて、当事者会、家族会、ピアサポーター等の情報提供を行い、それらの団体の育成支援も行う。

講義7 まとめ

- 基本的に、当事者会や家族会は困難と感じる問題について、自ら解決や受容をするために設立し運営されているが、団体毎によって活動内容が異なるので、日頃から地域にある団体について知っておくことが重要。
- ピアサポーターと協働するにはリカバリー概念の理解が重要。また、ピアサポーター毎で体験や意向が異なることを知っておくことが大切。
- 家族は精神障害当事者のケアをすると同時にケアを受ける当事者でもあることを理解して相談支援を行う。

科目6のまとめ

- 科目6では、行政が行う精神保健福祉の相談支援は精神保健福祉法と、「保健所及び市町村における業務運営要領」が活動根拠であると説明した。
- 面接相談、電話相談等の相談支援の違いについて説明し、相談受理後の援助の展開(プロセス)やアセスメントについては、個別事例を用いて説明した。
- 精神保健に課題を抱える住民の相談支援については、多職種、多機関連携での精神保健福祉相談員の役割を、個別事例を用いて説明した。
- 当事者及び家族との協働については、家族会や当事者会、ピアサポーターの成り立ちを説明し、団体や参加者の意思を尊重し、支援することの重要性について個別事例も用いて説明した。

参考文献・資料

- 全国精神保健福祉相談員会編「精神保健福祉相談ハンドブック」中央法規,2006.
- 公益社団法人全国精神保健福祉会連合会「2019年度報告書 精神障害当事者の家族に対する差別や偏見に関する実態把握全国調査」2020.
(<https://seishinhoken.jp/researches/5428236b0ea2d8c4d06228c7b8e110d09305606e>)
- 高松 里編「サポート・グループの実践と展開」金剛出版,2009.
- 相川章子「精神障がいピアサポーター: 活動の実際と効果的な養成・育成プログラム」中央法規出版,2013
- 地域精神保健医療福祉体制の機能強化を推進する政策研究(研究代表者:藤井千代) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に関する研究(分担研究者:野口正行)編『精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築の手引き-地域共生社会を目指す市町村職員のために(普及版/詳細版)』2022.

ご視聴ありがとうございました。

続いて、【科目7】

精神保健医療福祉に関連する制度とサービスの動画をご覧ください。

【動画作成】

厚生労働行政推進調査事業費補助金

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を推進する政策研究」分担研究

「自治体における包括的ケアの推進に関する研究」

【作成協力】

全国精神保健福祉相談員会